

論

説

## 宮武 剛

元旦のどんらんを直撃された能登半島地震の被災者の皆さま、復旧へ困難極まる作業の続く被災地へ心よりお見舞いを申し上げます。

激震からほぼ1カ月、被害の実相が掘り起こされるにつれ、死者・不明者の多さ、家屋・施設の無残な倒壊群に衝撃を受け続けた。故郷へ戻り、実家で新年を祝っていた息子・娘、孫らが圧死した不条理に言葉



## 能登半島地震

## 鎮魂と再生への祈り

を失う。避難所で不便と不安に耐える住民の苦境に胸が痛む。

石川県は県内を4圏域に分け、その「能登北部」（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）に甚大な被害が集

中した。日本海に突き出る半島北部に散在する2市2町では

「2035年には2・5人たいらんかいね」に1人の見通し」（石川県長寿社会プラン2021）。五百円」

独り暮らしや老夫婦ばかりが目立つ小集落へ、海辺の道も山あいの道も寸断され、救援・支援活動は難渋を極める。

しかし、この海と山がもたらす産物が「能登」の活に目を疑う。

過疎と高齢化が急速に進む。この20年で総人口は約3万人減の6万人弱、65歳以上が2人に1人を占めての魚貝、山菜、野菜、輪

島塗の食器、珠洲焼きなど。さらに介護と医療のニーズが高まる75歳以上は3・5人に1人の割合で、

朝市は、品物売り買いするだけではない。「ばあ

と客との触れ合いの場でもあつた。かつては「市の風」が並ぶ。コロナ禍をくぐり抜け、ようやく観光客が戻りつつあつた。

隣県・富山生まれの俳人

「旅の人 能登のこのわ」とする「全国朝市サミット」

協議会」も結成されている。

北は「さつぽろ朝市」「函館朝市」、南は熊本県

「牛深まるごと朝市」、長崎県「佐世保朝市」などが参加する。1988年から全国サミットをほぼ毎年開催し、輪島は2度開催地に選ばれた。

その仲間たちが各地で率先して募金集めやボランティア派遣の活動を始めた。千葉県・勝浦市、神奈川県・三浦市や厚木市など連帯の輪は広く深い。

余震と厳寒に追い打ちされる被災者と被災地は、いま悲哀と被害に耐えるだけで精いっぱいではない。災害関連死を防ぐのも急務だ。軽々に復興など語れない。しかし、各地の朝市仲間が駆け付け、いつか3度目の全国サミットが開催されることを夢見たい。

みやたけ・こう NPO法人福祉  
フォーラム・ジャパン副会長、学校  
法人・社会医学技術学院顧問

「旅の人 能登のこのわ」とする「全国朝市サミット」

「朝市文化」の交流と発展を図り、地域の振興に寄

（本紙論説委員）